

# えんてい 大荒沢川筋 川舟2号堰堤完成

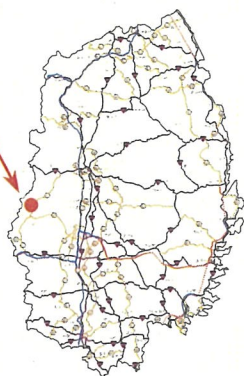
県南広域振興局 北上総合支局 土木部

大荒沢川は、西和賀町の北西地区にあり、奥羽山脈の東斜面に位置します。当該流域沿いには斜面崩壊箇所が多く、岩手県では第1号の砂防堰堤を始め、数多くの堰堤を建設しています。

今回の事業は、平成9年の洪水を機に、扇状地の氾濫防止対策として鋼製スリット堰堤等を整備し、人家25戸と公民館等の公共施設を土砂災害から守るために行われました。

平成19年12月に完成した川舟2号堰堤（鋼製スリット堰堤）は、コンクリートの堰堤に鋼製くし型の通水部を合わせ持った県内では珍しいタイプの堰堤です。この構造のため、川の流れが寸断されず、魚の遡上も可能となっています。

施工位置  
(西和賀町沢内字川船)



鋼製スリット部



川船2号堰堤 全景

○計画諸元

流域面積 10.57km<sup>2</sup> 最大洪水流量 208m<sup>3</sup>/sec  
 砂防ダム形式 重力式 鋼製スリットダム  
 ダム高さ 9.0m 堤長 247m 計画貯砂量 73,200m<sup>3</sup>

○事業期間

平成12年度～平成19年度（平成19年12月完成）

○特記事項

自然豊かな地域であることから、沢内地域の自然に詳しい雪国文化研究所の助言を受けながら自然環境の共生に配慮した事業を行いました。



平成9年の洪水の様子